

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

豊見城市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県豊見城市

3 地域再生計画の区域

沖縄県豊見城市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は国勢調査によると、2020年は64,612人となっており、住民基本台帳によると、2023年6月30日時点では65,860人となっている。総人口はこれまで増加で推移してきたが、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、2040年頃をピークに減少に転じることが予測されており、2045年は69,660人となる見込みである。

2020年の国勢調査における本市の年齢3区分別の人口構成比をみると、年少人口（0～14歳）が19.4%（12,539人）、生産年齢人口（15～64歳）が60.7%（39,193人）、老年人口（65歳以上）が19.9%（12,880人）となっている。国勢調査における過去の推移及び国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、年少人口（0～14歳）は2025年をピークにして微減が見込まれており、生産年齢人口（15～64歳）においても2030年をピークにして微減が見込まれることに対して、高齢人口（65歳以上）については2055年をピークに、5年毎に1,000～2,000人程度の増加が見込まれている。

また、地区別には豊見城、宜保、真玉橋、豊崎は2045年に向けた人口増の推計となっているが、その他の大半ではほぼ横ばいの推計となっている。

沖縄県の人口移動報告年報によると、本市における2022年の出生数は741人、死亡数は533人で、208人の自然増となっている。過去15年間の推移を見ても、一貫して出生数が死亡数を上回っており、自然増が続いている。しかし、出生数

が、2012年の917人をピークにやや減少傾向となっていることに加えて、死亡数も2018年以降増加傾向にあるため、将来的には出生数と死亡数が逆転し、自然減となることが予測される。

また、沖縄県の人口移動報告年報によると、本市における2022年の転入数は3,351人、転出数は3,598人で、247人の社会減となっている。

以上のことから、現状は人口が増加傾向を維持してはいるものの、少子高齢化の進行や働き世代の職を求めた市外への人口流出等が進行しており、将来的には人口が減少に転じる見込みとなっている。人口減少、少子高齢化が進行すると、地域経済の低迷、地域の担い手減少、地域活力の衰退等が懸念される。

このような中、「まち」の課題として、感染症の拡大防止と早期収束、市街地拡大に向けた基盤整備、災害の激甚化への対応等、「ひと」の課題として、子育てしやすい環境の確保、高齢化進展への対応、都市化に伴う人間関係の希薄化防止等、「しごと」の課題として、デジタル技術によるイノベーションへの対応、市内雇用者の場の確保等に取り組む必要がある。

このことを踏まえて、本計画期間において次の5つの基本目標を掲げて事業を推進する。

- ・基本目標1 子どもが生きる夢と希望にみちたまち
- ・基本目標2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち
- ・基本目標3 活気ある豊かなまち
- ・基本目標4 環境に優しい住みよいまち
- ・基本目標5 安全安心な協働のまち

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	2.01%	2.1%	基本目標1
	年少人口比率	19.25%	20%	

子育てしやすいまちだと思 う市民の割合	45.1%	57.2%
子育て環境に満足してい る保護者の割合	33.9%	55.0%
まかせて会員養成数	12人	10人
保育所等受入人数	3,261人	3,843人
待機児童数	6人	0人
保幼小職員合同研修及 び小学校区部会の実施回 数	4回	18回
乳幼児健診未受診率（3 歳児）	6.7%	6%
3歳児が夜10時以降に就 寝する割合	28.8%	26%
3歳児のむし歯有病者の 割合	14.5%	15%
主食・主菜・副菜を組み合 わせた食事を1日2回以 上ほぼ毎日食べている妊 婦の割合	27.7%	45%
Q-Uの学級満足度尺度の 学級生活満足群（小中平 均）	65%	69%
全国学力学習状況調査 正答数3割未満割合（中 3数学）	40.2%	3.3%
時間外勤務45時間以上の 教職員の割合	30.02%	13%
学習者用端末の利用率	100%	100%

学校給食における栄養充足率 (H30指標のエネルギーベースにおいて)	(小学校) 91% (中学校) 85.1%	(小学校) 100% (中学校) 100%
市の文化財、伝統行事・芸能、指定文化財を知っている、鑑賞・参加したことのある市民の割合	67.2%	79%
指定・登録等の文化財件数【累積】	11件	13件
文化財・市史編集による発刊物および公開資料の件数【累積】	58件	66件
この1年間で自発的に学習(生涯学習)した市民の割合	29.8%	49%
中央図書館における利用満足度	4.4	4.4
社会教育行政職員(館長、社会教育指導員、図書館司書等)研修延べ時間	437時間	437時間
放課後子ども教室設置小学校数	8校	8校
「親のまなびあい」プログラム受講団体数	2団体	9団体
姉妹都市(宮崎県美郷町・高千穂町、高知県土佐清水市)・広島県大竹市との交流人数	73人	155人

	海外につながるのある県人会・村人会の団体数	2 団体	2 団体	
	県外・海外につながるのある県人会・市出身郷友会の団体数（産業振興分野）	7 団体	7 団体	
	週 1 日以上スポーツを実施する市民の割合	49.1%	54%	
	週 3 日以上スポーツを実施する市民の割合	22.4%	24%	
	スポーツ施設利用者数	480,633人	501,500人	
	スポーツ合宿受入数	15回	15回	
イ	特定健康診査の受診率（40～74歳の国保被保険者）	30.7%	60%	基本目標 2
	特定保健指導の実施率（40～74歳の国保被保険者）	74.4%	60%	
	朝食を週に 5 日以上食べる市民の割合	55.5%	72%	
	国民健康保険料（税）収納率	95.24%	96.24%	
	困っている時に、相談できる自治会や公的相談所、民生委員等を知っている市民の割合	23%	29.5%	
	地域見守り隊協定締結数	6 団体	8 団体	
	生活困窮者自立支援制度利用により就労・増収した割合	34%	70%	
	男女の不平等感を感じる	71.6%	67.5%	

	女性の割合			
	審議会への女性登用率	31.8%	36.0%	
	市役所管理職（課長級以上）の女性登用率	14.81%	14.81%	
	平和行政に関わる住民数（イベント参加者数等）	3,736人	3,789人	
	6月23日の慰霊の日認知率（40代以下の市民）	92.5%	95.7%	
	地域包括支援センター等の延べ相談者数	643人	643人	
	介護認定を受けていない高齢者の割合	82.54%	83.68%	
	介護予防事業の参加者数	1,832人	1,832人	
	障害福祉在宅サービスの受給者数	340人	436人	
	就労系サービスの利用者数（月平均）	304人	315人	
ウ	市産マンゴー生産量	184.2 t	245 t	基本目標 3
	市産トマト生産量	1,328 t	1,440 t	
	市産マンゴー出荷額	357百万円	362百万円	
	市産トマト出荷額	393百万円	513百万円	
	漁業従事者数	32人	49人	
	年間漁獲量	259.4 t	461.8 t	
	年間水揚額	150,452千円	304,720千円	
	年間商品販売額	1,147億円	1,255億円	
	製造品出荷額	16,675百万円	20,193百万円	
	創業支援者数・起業者数	相談170人 起業39人	相談219人 起業3915人	
	企業誘致等により立地し	3事業所	5事業所	

	た事業所数（累計）			
	観光地点等入込客数	650万人	675万人	
	市の観光がより盛んになると良いと感じる市民の割合	60.4%	63.5%	
	市内の完全失業率	4.8%	3.0%	
	市内の沖縄県ワーク・ライフ・バランス認証企業数	3企業	6企業	
	市内従業者数	23,879人	25,775人	
	一人あたりの市民所得	2,281千円	2,281千円	
エ	環境に優しいエコ活動を実践する市民の割合	87.9%	90.0%	基本目標 4
	環境保全に対するごみ拾い活動の参加者数	281人	600人	
	市の事務事業から排出されるCO ₂ 総排出量	7,670 t	7,140 t	
	漫湖水鳥・湿地センター周辺で確認される鳥類の種類数	81種類	73種類	
	（家庭系）市民一人あたり1日のごみ排出量	558g/人・日	492g/人・日	
	リサイクル率	17.4%	20.7%	
	ごみの分別・発生抑制・減量に取り組む市民の割合	75.9%	83.0%	
	騒音、振動、悪臭等で日常的に困っていない市民の割合	56.4%	59.0%	
	土地利用の誘導に資する	9件	13件	

都市計画決定・変更の件数		
農用地区域面積	296.1ha	296.3ha
市街化区域面積	816.9ha	816.9ha
地区計画区数（累計）	12地区	12地区
豊見城・高安地区地区計画の地区施設整備着手率	(道路) 31% (公園) 0%	(道路) 50% (公園) 20%
道路ボランティア組数（団体及び個人数）	64組	64組
市道改良率	72.1%	76%
主要渋滞箇所のうち、改善を講じた箇所の割合	56%	89%
市内一周線バスの利用者数	79,688人	81,925人
日常的に路線バスを利用する市民の割合【ほぼ毎日+週に数回】	4.2%	7.2%
市民一人あたり都市公園面積	7.5m ² /人	7.52m ² /人
都市公園面積	48.75ha	50.38ha
環境美化ボランティア活動支援団体数	17団体	17団体
有収率	96.45%	96.5%
耐震化率（全体管路）	7.5%	9.5%
汚水処理人口普及率	85.95%	85.95%
公共下水道人口普及率	74.37%	74.37%
公共下水道接続率	88.78%	89.2%
都市浸水対策達成率	75.5%	79.4%
農業用集落排水施設接続	75.1%	75.1%

	率			
	法定検査を受けている浄化槽数/浄化槽数	10.24%	10.24%	
オ	自治会加入率	26.4%	28.6%	基本目標5
	自治会・通り会・PT（C）A等の地域活動に参加する住民の割合	19.1%	24.0%	
	ボランティア活動を行っている市民の割合	15.8%	22%	
	市民活動団体支援応募団体数	9団体	9団体	
	災害対策の取り組みを1つ以上行う市民の割合	55.3%	66%	
	自主防災組織数	12組織	20組織	
	自主防災組織における避難訓練参加者数	1,620人	3,140人	
	災害時協定数	77協定	80協定	
	防災備蓄食料整備率	40.45%	67.95%	
	自主防犯ボランティア団体数	52団体	72団体	
	交通死亡事故発生件数	0件/年	0件/年	
	住宅用火災警報器（自動火災報知設備を含む）設置率	72%	74%	
	消防・救急の現場到着までの平均時間	8.1分/件	8.1分/件	
	過去5年以内に救命（応急手当）講習を受けた市民の割合	30%	39%	

市広報により、市政情報を得ている市民の割合	92.7%	95.3%
市政に対して意見や要望を言える機会が設けられていると感じる市民の割合	23.2%	28.85%
総合計画進捗率	39%	90%
デジタルファースト宣言に対応した業務数（累計）	8業務	8業務
行政改革アクションプラン進捗率	85.4%	100%
市役所職員の対応が良いとする市民の割合	76.9%	76.9%
財政力指数	0.63	0.66
将来負担比率	93	115未満
市税徴収率	97.7%	97.7%
ふるさとづくり寄附額	723百万円	900百万円

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

豊見城市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 子どもが生きる夢と希望にみちたまちづくり事業

イ 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまちづくり事業

- ウ 活気ある豊かなまちづくり事業
- エ 環境に優しい住みよいまちづくり事業
- オ 安全安心な協働のまちづくり事業

② 事業の内容

ア 子どもが生きる夢と希望にみちたまちづくり事業

親と子の成長支援・社会全体での子育て支援の充実を図るとともに、充実した教育及び学習環境での学びや歴史文化を通じた郷土愛の醸成により、誰もが夢と希望にみちたまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・子育て環境の充実
- ・保育の充実
- ・ひとり親に対する支援
- ・子どもの貧困対策の充実
- ・教育プログラムの充実
- ・教育施設・設備等の充実
- ・学校給食の充実
- ・家庭や地域との連携
- ・文化事業の推進と関連施設の充実
- ・生涯学習活動拠点の整備・充実
- ・国際交流の推進
- ・スポーツによる地域活性化の推進 等

イ 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまちづくり事業

すべての市民が生涯、健康でいきいきと充実した生活を送れるように、ライフステージに応じた健康意識を高め、健康寿命の延伸、早世の予防、親と子の健やかな暮らしの実現に努める事業

また、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に正しく継承するとともに、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援し、地域のつながり・支え合いを向上させることで、たがいが助け合い、誰もが自分らしく生きられるあたたかいまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・健康意識の向上
- ・地域福祉のまちをつくる
- ・多様性を尊重するまちをつくる
- ・健康づくりと介護予防の推進
- ・障害児支援の仕組みづくり 等

ウ 活気ある豊かなまちづくり事業

市の立地特性を活かした高付加価値型産業の市内立地・集積を進めながら、農林水産業・商工業・観光業等の各産業分野においてはブランド化・六次産業化・デジタル化等の時代の変化に対応した価値創造に取り組むとともに、多様な働き方が可能となる雇用環境を整えることで、活気に溢れた豊かなまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・豊見城の主要作物等を活かした農業振興
- ・スマート農業の推進
- ・新たな水産業の振興
- ・特色ある商工業者の育成支援
- ・販路拡大支援
- ・高付加価値型産業の誘致
- ・観光プログラムの充実
- ・ニーズに合わせた人材育成の推進 等

エ 環境に優しい住みよいまちづくり事業

身近な生活及び自然環境の保全やごみの資源化・減量化等による循環型社会の構築を図り、豊見城市らしい低炭素社会の実現による環境に優しいまちを目指す事業

次世代にもみどりを引き継ぎながらも住みよいまちとするため、「まちの顔」等の市街地整備を進めながら計画的な土地利用を推進するとともに、市民生活を支える道路・公共交通・公園・緑地・上下水道等の都市基盤の整備を推進する事業

【具体的な事業】

- ・自然環境の適切な保全及び活用

- ・ごみの資源化、減量化
- ・土地利用方針の明確化
- ・公共交通の利用促進
- ・公園の魅力創出、整備 等

オ 安全安心な協働のまちづくり事業

行政における限られた財源・人員等の効果的・効率的な活用を図りながら、市民への適切な情報発信に基づく市政への市民参画を進めるとともに、防災・防犯・交通安全等を始めとした地域の課題解決に向けて自治会、市民活動団体、非営利組織、ボランティア団体、企業等の多様な主体と協働で取り組む、安全安心のまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・地縁型コミュニティの再生と充実
- ・地域の防災力の強化
- ・救命救急体制の充実、強化
- ・行政デジタル化の推進 等

※ なお、詳細は第2期豊見城市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

※ 地域再生計画「豊見城市ワク・ドキこども未来プロジェクト」の5-2の⑥に掲げる事業実施期間中は、同②に掲げる事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,665,750千円（2023年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果の検証を実施し、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで